

『手塚治虫セル画展』開催

～ トキワ荘の漫画家 手塚治虫氏のメッセージを考える ～

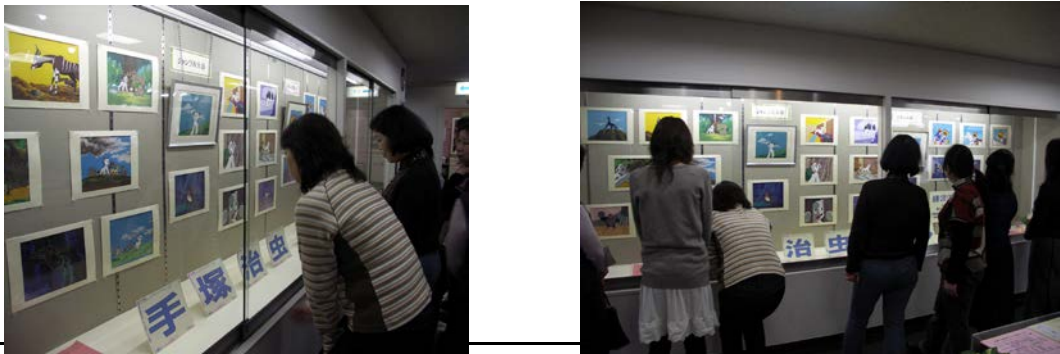
本日12日から3月2日まで、駒込・巣鴨・雑司が谷の地域文化創造館にて、故手塚治虫氏のアニメーションセル画を展示する「手塚治虫セル画展」が開催されている。

今年は、手塚氏生誕 80 周年の記念すべき年であり、この機会に区民だけではなく、多くの人々に本区の文化人である手塚治虫氏を広く周知することを目的としている。

手塚氏は、本区椎名町にあったトキワ荘にて漫画を執筆し、多くの漫画家達に影響を与えた。その後、雑司が谷の並木ハウスに活動拠点を移し、お墓は都電の新庚申塚駅近くの總禅寺にある。手塚氏の作品には、人の生命を大切に作る心・環境を大切に作る心・勇気を持って生きる心など、ヒューマニズムを訴えるものが多い。

今回は、当時の作品を楽しんだ団塊の世代が親子で楽しめるようにと、3つの作品を3つの会場で展示している。駒込では「ジャングル大帝」「リボンの騎士」、巣鴨では「鉄腕アトム」、雑司が谷では「どろろ」のセル画を見ることができる。(※雑司が谷のみセル画のコピー)

また、これに合わせて南大塚ホールでは、23日(土)に大塚シネマ第2弾として、手塚治虫原作「どろろ」を上映する。ホールのロビーには「どろろ」のセル画(コピー)を展示するとともに、手塚氏のコミックスの販売も行う。

日 時	平成20年2月12日(火)～3月2日(日) 午前8時30分～午後9時30分	
場 所	駒込地域文化創造館(駒込2-2-2) / 「ジャングル大帝」「リボンの騎士」 巣鴨地域文化創造館(巣鴨4-15-11) / 「鉄腕アトム」 雑司が谷地域文化創造館(雑司が谷3-1-7) / 「どろろ」※2月25日は休館	
主 催	(財)としま未来文化財団 協力:手塚プロダクション・虫プロダクション	
当日の様子 参加者の声 など	色鮮やかなセル画は、たくさんの観客に囲まれていた。観客からは、「懐かしいね」「わー！本物なんだね」などといった声や感嘆のため息が聞こえた。 展示を観に来た女性は、「日本が誇れる世界の手塚先生の作品を身近で、しかも無料で鑑賞できるなんて素晴らしい機会です。こういった展示をもっと増やして、豊島区の財産をアピールしていけば良いと思います」と語った。また、施設を利用しに来館した女性は、「トキワ荘は知っていたけど、トキワ荘が豊島区にあったなんて初めて知りました。すごいですね」と語った。本展示で、「トキワ荘が豊島区にあった」ということを改めてPRする機会となる。	
背 景 補 足 事 項	※トキワ荘/日本の漫画史の金字塔、手塚治虫をはじめ、多くの漫画家を輩出したトキワ荘は、現在の南長崎3丁目(当時は椎名町)にあった。1952年に作られたアパートに、当時の漫画雑誌社「学童社」が、自社の雑誌で連載を持つ漫画家を多くこのアパートに入居させ、その中で多くの漫画家が名をなし、漫画ファンにとって聖地のような扱いをされていた。1981年に老朽化のため解体が決定。1982年に解体された。	
写 真 *写真はメ ールで送り ます		
問 合 せ	(財)としま未来文化財団 地域コミュニティ創造課長	

平成20年2月19日

(予告) 映画「どろろ」と落語会開催！！
～ 大塚シネマプロジェクト第2弾 映画でまちづくり ～

23日(土)、南大塚ホールで映画「どろろ」と落語会を開催する。

戦前の大塚は、映画の撮影場や映画館があり、多くの映画ファンが訪れ、賑わいを見せていた。しかし現在は、面影は薄れ、池袋や巣鴨の中間に位置する大塚は、地域活力の低下が地元を悩ませている。そこで、大塚の文化資源の発掘、魅力と賑わいの創出を図るため、地元9商店街の商店会長を中心に、(株)豊島にぎわい創出機構や池袋シネマ振興会の協力のもと、「大塚シネマプロジェクト実行委員会」を結成した。これは大塚を映画で盛り上げようというもので、昨年12月に映画「しゃべれども しゃべれども」を上映、あわせて落語会を行なった。第2弾の今回は、区とゆかりのある「ときわ荘」の漫画家、故手塚治虫の原作「どろろ」を上映する。また、映画に出演しているのは区内出身の女優、柴咲コウさんという縁もある。

さらに、上映に先立って、映画内でスタントを行なった秋本つばささんをゲストにアクションに対する想いを語ってもらう。秋本さんはアクション女優の第一人者で、大塚でアクションスタジオを経営し、後輩の育成のほか、子どもから大人までを対象にしたアクロバット教室を開いている。当日はアクションショーも予定している。

日 時	平成20年2月23日(土) 午後の部/14時～17時15分 夜間の部/18時～21時15分
会 場	南大塚ホール(南大塚2-36-1)
主 催	大塚シネマプロジェクト実行委員会
事業の内容等	<p>【映画内容】 手塚治虫の原作「どろろ」は、1967年8月から1968年7月まで、週刊少年サンデーに連載され、今の団塊の世代に愛読された作品の一つ。ストーリーは、体の48箇所を魔物に奪われた百鬼丸が、魔物退治の旅を続ける怪奇漫画であるが、身分の高い主人公が故郷を離れ、数々の苦難をのりこえて英雄になるという貴種流離譚の物語。また、百鬼丸の刀を狙う盗賊どろろとの友情と愛、そして、自らの体を捜し、その機能を回復するという自分探しや生命の大切さもテーマとなっている。監督、塩田明彦、主演の百鬼丸役に妻夫木聡、どろろ役に柴咲コウ等。</p> <p>【落語会】 落語家：林家久蔵(真打ち) ◎料金は800円(割引あり) ◎チケット購入/各地域文化創造館の窓口、区民センター2Fチケットセンター ◎申し込み：南大塚地域文化創造館へ 電話(3946)4301</p> <p>なお、としま未来文化財団では、「どろろ」の上映に合わせて、「手塚治虫セル画展」を駒込、巣鴨、雑司が谷の地域文化創造館にて、3月2日(日)まで開催中である。展示作品は、鉄腕アトム、ジャングル大帝、リボンの騎士等なつかしい作品ばかり。</p> <p>担当の柴俊之課長は「ぜひ、この機会に、豊島区の文化人である手塚治虫の魅力を、漫画を愛読した団塊の世代だけでなく、子、孫の世代をも含め、余すことなく広く周知していきたい」と話している。</p>
問 合 せ	南大塚地域文化創造館

手塚治虫 セル画展

平成20年2月12日(火)~3月2日(日)

リボンの騎士



鉄腕アトム



©手塚プロダクション・虫プロダクション

ジャングル大帝



駒込地域文化創造館 TEL03-3940-2400

巣鴨地域文化創造館 TEL03-3576-2637

雑司ヶ谷地域文化創造館<セル画コピー展示>TEL03-3590-1253

主催:(財)としま未来文化財団 協力:手塚プロダクション・虫プロダクション